

# 石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=110 円:



## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏【研修と活性化】

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

## 東京武蔵村山ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区  
今週のクラブ紹介

例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 会長: 倉内 淳  
例会場: 東京都武蔵村山市本町 2-91-1 西武信用金庫村山支店内

～ 誕生 1972年7月 ～

### クラブの概要

地域: 武蔵村山市全般 会員数: 33名 (2019年2月7日現在)  
 クラブ経歴: 創立: 1972年7月8日 (承認: 1972年7月20日)  
 チャーターナイト: 1973年6月16日  
 スポンサークラブ: 東京立川ロータリークラブ



### 活動方針

2018~19年クラブテーマ『親睦・研修・実践』  
基本に立ち返り、素晴らしいロータリーライフを!

『親睦』例会と親睦事業の充実例会出席が基本。他の会員との交流の中でたくさんの学びが得られます。親睦事業に積極的に参加しましょう。

『研修』研修リーダー、プログラム委員会を中心にロータリーの発生から現在までの歴史と変遷を学び、それぞれの会員がロータリーの本質を知り、自分のロータリー観をもっていただきたいと思ひます。

『実践』各奉仕委員会活動に積極的に参加しましょう。学んだことを日々の職業の中で実践しましょう(職業奉仕)各奉仕活動に参加して実践しましょう(社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)

『親睦』『研修』『実践』を通じロータリーの本質を学び、素晴らしいロータリーライフを発見し、体験しましょう!



☆: HAPPY ☆: BIRTHDAY ☆:

新 賢次氏 2日 大濱 透氏 7日 大城 文博氏 25日

◀4月の予定▶ 10日(水)東京上野 RC 来訪 17日(水)休会 24日(水)夜間例会

🍀 会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男 🍀

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

《第34回3月20日(水)例会報告(通算2828回)》

ゲスト卓話

＜司会進行＞東上里 和広

ロータリーソング:奉仕の理想 四のテスト

ソングリーダー:上原 秀政

メイクアップ:我那覇宗善 吉田 貴紀 小底 厚子 大濱 達也

漢那 憲隆 宮良 榮子 大浜 勇人 小林 昌道 前原 博一

＜出席報告＞

会員総数:44名

出席義務会員:43名

出席数:25名

欠席数:18名

出席率:68.13%

通算出席率:57.36%(3月)

本日のニコニコ

\*遠藤正夫:東川平様 卓話ありがとうございました。

\*橋本孝来:東川平様 卓話頂きありがとうございました。

\*米盛博和:白保の後輩のゲスト卓話 嬉しいです(^)

\*松尾和彦:長女が医師国家試験合格しました。感謝です。



◆BOX ¥4,000 (累計¥144,000) ◆コイン ¥2,168 (累計¥75,197) 合計¥219,197

会長挨拶:遠藤正夫



皆さんこんにちは。私の挨拶も31回になりました。時が経つのは早いものでもう3月下旬です。私の卒業ももうすぐです。新年度も始まりますし、気候も暖かくなりました。あとは橋本先生にバトンタッチです。あとの3ヶ月、楽しみながらやって行きたいと思っております。今年10月から消費税が10%になります。軽減処置の講習会があるようです。お店で食べたら10%、持ち帰りだと8%とよく分かりませんが、確定申告の時に消費税に対して定率でやっている分には変わらないという事を今日、前原先生に聞いて納得しました。今日も講習会をやっているようです。興味のある方は聞いてみて下さい。今日は東川平さんが来ていただいております。楽しみにしていました。どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告:池城貞光

2019-20年度版「ロータリー手帳」お買い上げのお願いがきております。1冊600円です。お申し込みは今日までとなっております。注文される方は事務局までお願いします。5月下旬には届くとの事です。



ゲスト卓話:東川平靖氏



八重山ビジターズビューロー 専務理事

◆テーマ◆ YVBが取り組む八重山圏域DMO

皆さんこんにちは。今回、石垣RCで卓話の機会を与えて頂きましてありがとうございます。プログラム委員長の黒島さんとは同級生で、お声がかかり卓話をさせて頂く事になりました。大浜パスト会長の時も卓話をさせて頂きまして、その時は観光ではなく航空事業についてお話しさせて頂きました。実は私も2010年から那覇RCのメンバーをしております。SAAや親睦委員、人材育成とかを経験いたしました。一番大変だったのはプログラム委員で2年間務めました。本当に毎週大変でした。でもいい出会いが沢山あっていい方達に巡り逢えてとても勉強になりました。今朝の新聞ご覧頂いたと思いますが、昨日、ANAインターコンチでYVBが観光庁の広域連携推進室の講師を招いて、世界の観光カリスマである山田桂一郎先生、石垣市長を交えて、講演会とトークセッションを行いました。今日は、観光とは直接関わっているメンバーが少ないように思いますが、YVBが取り組む八重山圏域DMOという事でお話しをさせて頂きたいと思っております。八重山には石垣市観光交流協会、実際に会員が居て活動しています。竹富にも竹富町観光協会、与那国にも与那国観光協会があります。八重山は各自自治体で観光協会それぞれありますが、公益連携という事で

YVBの役割としては全体で観光に関する活動をしていこうという事です。4年前に一般社団法人として再設立しましたが、歴史的には十数年になります。去年から組織変更をしながら活動状況を変えていこうという事で八重山圏域DMOを使って動いております。新石垣空港が出来て以降、非常に観光客が伸びているのが皆さんもご存じだと思います。H30年は137万人、H29年は138万人、人数的には落ちましたが、観光消費額は945億円と約70億上がっております。これは、クルーズ船が減少して飛行機のお客が増えたのが要因になります。定住人口が一人あたり125万円の年間消費額がこの地域から減るといふ数字がはじき出されています。人口が減るといふ事はこの地域の経済がだんだん弱っていきます。外国人旅行社の落とすお金は一人当たり15万4千円、外国人が8人来れば補えます。国内旅行者だと25人分。国内旅行者の日帰りだと80人分になります。地域で人口が減った分を何かで補いましょうという事です。何故、外国人かという今、国内旅行者は以前のように旅行しない方が増えています。訪日外客数と出国日本人数の推移(1964-2018)を見てみると急激に伸びていますので、如何に外国人を取組むかという事になります。国内における外国人旅行消費額については、自動車、化学製品に次いで3番目に観光が大きく、半導体等電子部品よりも大きい数字となっております。日本人旅行者は少なくはなっているものの、6億4千万人で約2兆円稼ぎ出しています。外国人旅行消費額は約3千万人で4兆円を稼ぎ出しています。これが日本全体の数字になっています。沖縄県では2018年度の入域観光客数を一千万人目指しましょうという事で、国内観光客の目標値は700万人、外国人観光客の目標値は300万人に設定されています。外国人観光客の数値が大分増えています。平成29年度の沖縄県における旅行・観光の経済波及効果は約1兆2千億、付加価値誘発効果が約5千735億というふうに出しています。なかなか表に出て説明はされていませんが、産業波及効果も3次効果も無いわけではありません。沖縄県、石垣市、宮古島市、豊見城もそうですが、各自治体からこれが出されていません。先程、観光消費額が945億あると言いましたが、どう産業に住民に波及効果があるのかというは出されていません。これを石垣市も一緒に出して行きましょうという事を進めております。八重山圏域入客観光客数は2013年新石垣空港が出来てから急激に伸びております。昨年は137万9千人で海外路線は落ちていますがこれはクルーズ船です。でも県内の航空が伸びて観光消費額は上がっています。月別の消費額では夏場がピークで11月から2月が少ないので平準化を図らなければならぬというのが八重山観光の課題です。今年

の入客観光客数の目標は142万人という事を出してまいして、観光消費額も978億円を目指しております。ただ、観光客に対する意識調査では、他の産業連携、住民の理解が進んでいないというのはアンケートの結果に出ています。「やや減らすべき」「減らすべき」の合計が約47%となっております。アンケートの取り方にもよるとの意見もありますが、沖縄県は県全体では増えて欲しいが、移住する地域には今のままでよい、といったギャップがみられていて、これは変えて行かなくては行けないと話しています。石垣市の課税額推移表を見てみますと、所得が上がっています。税額が上がるといふ事は所得が上がってきていると考えます。H29年は17億でH24年より3.3億円の124%とここまで伸びる自治体はなかなかないと思います。個人の負担額も前年比、千七百円、累計でも6千3百円と一人当たりの税負担がかかっている、それだけ収入も増えている事だと思います。H27年度の八重山圏域一人当たりの所得推移では、石垣市の所得は安定的に伸びてきているが、竹富町は若干低くなっています。一方、与那国がもの凄く上がりました。与那国の課長の話では、これは自衛隊が来て公務員が増えたところだと話していました。市町村民所得伸び率と人口の伸び率は、石垣市は所得伸びと人口伸び率が均衡で双方伸びている。竹富町は所得伸び率が低い。与那国町は、人口伸び率が増加しているがそれ以上に所得の伸びが大きい。

日本の政策はどういう事を進めているかという、人口が減少するので、各自治体、地域に元気になって欲しい。そういった意味で地方創生と日本版DMOへの取組の必要性という事で2015年に開始しています。明日の日本を支える観光ビジョン構想会議が開かれまして、今までの観光の課題は、関係者の巻き込みが不十分(文化、農林漁業、商工業、環境との結びつき)データの収集・分析が不十分、民間的手法の導入が不十分ですと取組みの必要性を官公庁が話されてきました。観光の力で地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要と、官公庁は経済産業省とか農水省を含め、いろいろとタイアップしながら観光先進国を目指しましょうとしています。各地域の観光協会、観光連盟とかの既存団体ではなく、数字に基づいて分析をし、マーケティングをする。その上で効率的に発信をして行く。それをやっていくという事で「DMO」という団体を官公庁は推進しています。DMOとはDestination ManagementもしくはMarketing Organization 地域をマネジメントする。もう一つはダイレクトマーケティング、直接販売するという考え方も含まれています。合わせてDMOというふうに呼んでいます。観光業だけではなく地域の多様関係者を巻き込み、科



学的なアプローチで観光地域づくりを行っていきましょうという事を今、進めています。商工業、農林漁業、交通事業者、飲食店含め、多様な関係者との連携で、地域が元気になる為に域内経済循環、地域の物を使って、地域で経済循環させましょう。そして消費額を上げて波及効果を出して行きましょうという事がDMOの考え方です。「多種多様な産業での魅力づくり」として地域住民と全ての産業に関わりを持って横ぐしの圏域活性化をしていく。その為には国内、海外への発信をしてブランドの確立が必要だとしています。ただ、役割の分担がされていない。それぞれの協会、自治体が似たようなイベントをしています。まずは、現況を共有しましょう！重複を避け効率的良く、自分たちがやりたいことではなく、やるべき事、自分の団体ができる事、自分の団体でなくてはできない事、をしていきましょう。役割の分担をして効率的にしていくことを目指していきたいと思えます。ビジョンを作っていくという事で動いているのが肩書きのない若いメンバーで月2回ぐらい、18名ほど集まってビジョン会議をしています。あまり難しく考えずにみんなで一緒にやっていける連携産業をこれからスタートしていきたいと思っております。とにかく住民が中心となり持続可能な地づくりで未来を！として進めているところがございます。ご静聴ありがとうございました。

～ 例会風景 ～



東川平靖様 卓話ありがとうございました。

2019年3月27日(水) 第35回(通算2829回)

～ 夜間例会風景 ～



各自の近況報告や情報交換をし、懇親を深め、楽しい時間を過ごしました。



於：美ら花ホテルミヤヒラ「芭蕉亭」